

思い出を胸に旅立つ 甘楽中卒業式

甘楽中学校の卒業式が3月12日、同校体育館で行われました。新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者と卒業生、職員のみが参列し、在校生は教室などでリモート参加しました。卒業生

116人は厳粛な雰囲気の中で立派な態度で式に臨み、3年間の思い出を胸に学びやを後にしました。



← ↑ 飯塚真琴校長が生徒一人ひとりに卒業証書を授与

9 年間皆勤おめでとう！

甘楽中学校の卒業生のうち、小学校・中学校9年間の皆勤者は6人でした。皆勤を成し遂げた生徒は次のとおりです。

- 小金澤蒼天さん
- 遠橋煌生さん
- 中野陽大さん
- 中野穂香さん
- 吉田萌亜さん
- 篠原歩花さん

9年間を振り返り「楽しく過ごせた」と話す6人に皆勤の秘訣を聞くと、「毎日朝ごはんをしっかり食べてきたこと」と声をそろえて教えてくれました。

また、中学校3年間の皆勤者は52人でした。



前列左から 篠原さん、中野穂さん、吉田さん、
後列左から 中野陽さん、遠橋さん、小金澤さん

今できることを全力で 生き方講演会



じゃんけんで花岡さんと交流(ランチルームにて)

甘楽中学校では3月10日、1年生109人を対象にした生き方講演会「なりたい自分になるために～残されたものを最大限に生かせ～」がリモート開催されました。元パラリンピック車いすマラソン代表の花岡伸和さん（日本パラ陸上競技連盟副理事長）を講師に迎え、パラスポーツのあゆみや花岡さんの人生、パラリンピック大会出場経験などを話していただきました。「なりたい自分になるために、今できることを全力で！」という花岡さんのメッセージに生徒たちは勇気と元気をもらいました。

豊かな感性を詩に表現 童謡作詩コンクール

第31回甘楽町ふるさとコンサート「童謡作詩コンクール」の入賞作品が決定し、表彰式が2月28日に町公民館で行われました。(右写真)

郷土愛と感性豊かな子どもたちの育成を目的とした同コンクールには、町内の小中学生から普段の生活の中で感じていることや思いが素直につづられた598点の応募があり、14点が入賞(入選4点・佳作10点)しました。

毎年実施しているコンサートは新型コロナウイルス感染症の影響により開催できませんでしたが、入選作品は音楽団体により作曲され、次のコンサートで発表されます。



受賞作品は
こちらから→



明るい家庭づくりに向けて ～かんら家庭の日推進大会～

第14回かんら家庭の日推進大会が3月7日、ら・ら・かんらで開催され、「家庭の日」「少年の日」標語・作文コンクールの表彰式(右写真)と講演会が行われました。

コンクールは、町内の小中学生を対象に家庭の大切さや家庭の役割の素晴らしさ、青少年の健全育成を題材とした標語や作文などを募集したもので、温かい家族との触れ合いを感じさせる255点の応募の中から26点が入賞しました。



受賞作品は
こちらから→



登録1万人達成！町図書館

平成14年7月に開館した町図書館は2月21日、貸出カードの新規登録1万人を達成しました。

1万人の節目に貸出カードを登録したのは田村真理さん(富岡市)。田村さんはこの日、お子さんと絵本を借りるために来館しました。

茂木伸二館長から記念の賞状が手渡されると、田村さんは「甘楽町図書館はとても使いやすいと、以前から聞いていました。自分がちょうど1万人目だとお聞きして、今日、本を借りに来て本当に良かったと思いました。これからも図書館を利用させていただきます」と話されました。



交通安全推進に尽力 高田さん

交通指導員として5年以上にわたり継続して活動されている高田 実さん(小川)に2月3日、群馬県知事から感謝状が贈られました。

町では、現在10人の交通指導員(伊藤雄一隊長)が災害発生時や各種イベントなどの際に、交通秩序の保持と交通事故防止のために交通整理を行っています。また、交通安全運動期間などには、街頭に立って住民の皆さんの安全を守るために活躍されています。



岩ツツジで景勝地に 那須の里

浅香さん(右)と田村さん



秋畑那須地区を流れる一級河川雄川のほとりの崖上に、岩ツツジの木が植えられました。

これは、同地区の浅香征夫さんと田村正美さんが地元の自然豊かな景観をより楽しめるようにと自分の畑で長年かけて育て上げた貴重なツツジを移植したものです。

浅香さんは「地域おこしになるといいと思って植えました。花が咲いて多くの人が見てくれたらうれしい」と話してくれました。

ちいじがき蕎麦の館・那須庵から望むことができるツツジは、4月初旬に花が咲き始める予定です。那須にお越しの際はぜひご覧ください。

ぐんまちゃんと楽しく学ぶ 福島幼稚園

ぐんまちゃんとぐんまちゃんキャラバン隊が幼稚園などを訪問する「ぐんまちゃんとお友達になろう!」が3月3日、福島幼稚園で行われました。

全園児33人がぐんまちゃんと一緒に踊りをしたり、群馬県の歴史や自然を学ぶクイズなどを楽しみました。園児たちは、元気いっぱい楽しい時間を過ごし、手洗いや人と人の距離の確保など、新しい生活様式の約束もしました。



「つる舞う形の群馬県!」の掛け声に合わせて鶴のポーズをする園児たち